

# 平成 26 年度決算報告



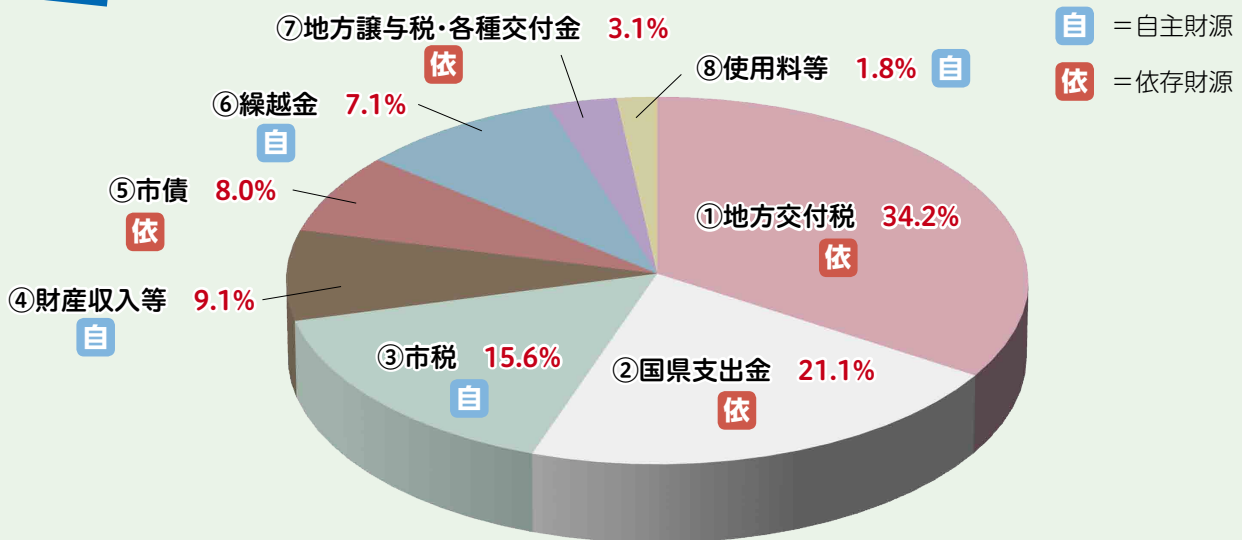
# 阿蘇市の財政事情

平成 26 年度一般会計及び特別会計・企業会計の決算が、市議会 9 月定例会で承認されました。皆さまから納めて頂いたお金や国・県から交付されたお金がどのように使われたのかをお知らせします。

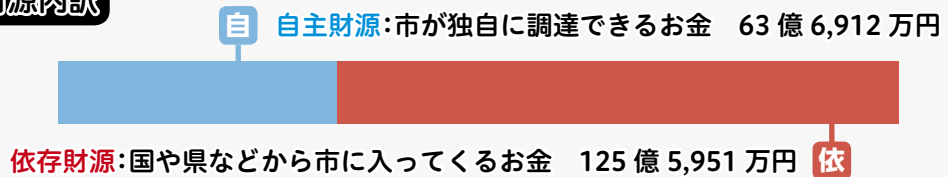
市役所財政課 ☎ 22-3204

歳入

一般会計歳入総額 **189 億 2,863 万円**



## 財源内訳



## ●歳入内訳

項目	説明	金額
① 地方交付税	どの地域に住む住民にも一定の水準の行政サービスを提供できるように国から交付されるお金	64 億 6,400 万円
② 国県支出金	特定の事業を行うために国県が交付するお金	39 億 9,799 万円
③ 市税	市民の皆さまから納めていただいた税金	29 億 5,546 万円
④ 財産収入等	財産収入のほか、寄附金、繰入金、諸収入	17 億 1,902 万円
⑤ 市債	特定の事業を行うために市が借り入れたお金	15 億 730 万円
⑥ 繰越金	前年から持ち越したお金	13 億 4,965 万円
⑦ 地方譲与税・各種交付金	国税や県税として徴収したものを、国や県が一定の基準により、市に対して譲与・交付するお金	5 億 9,022 万円
⑧ 使用料等	使用料のほか手数料、分担金及び負担金	3 億 4,499 万円



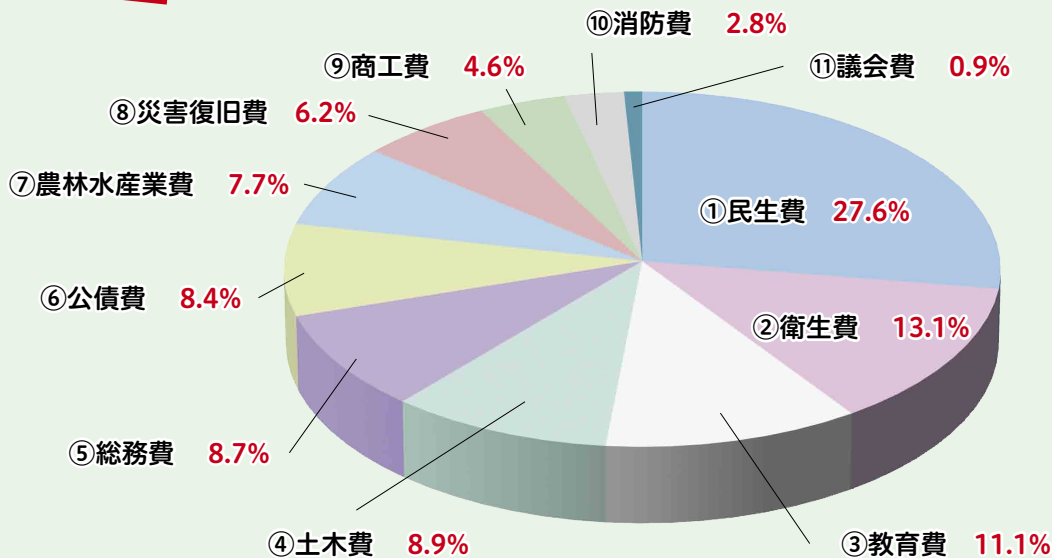
平成26年度の一般会計決算額は、歳入が前年度より4億4,266万円減の189億2,863万円、歳出が1億2,161万円減の179億3万円となり、歳入から歳出を差し引いた歳入歳出差引額10億2,860万円のうち1億6,792万円は27年度に繰り越した事業の財源となります。

歳入歳出差引額減少の主な要因は平成24年九州北部豪雨災害に伴う災害復旧費の減少によるものです。災害復旧事業をはじめ、市営住宅建設や草原情報館整備などを実施しました。主な事業は、6ページに記載しています。

今後も経常経費の徹底した削減を行いながら、効率的かつ効果的な財政運営に努めていきます。

## 歳出

# 一般会計歳出総額 179億3万円



### ●歳出内訳

① 民生費	福祉の向上のために使われるお金	49億2,770万円
② 衛生費	ごみ処理や健康づくりなどのために使われるお金	23億5,385万円
③ 教育費	教育のために使われるお金	19億8,669万円
④ 土木費	道路や橋、河川、公営住宅などの整備のために使われるお金	15億8,572万円
⑤ 総務費	庁舎の維持管理や交通、統計、選挙、徴税などのためのお金	15億5,762万円
⑥ 公債費	市の借金を返済するためのお金	14億9,777万円
⑦ 農林水産業費	農林畜産業の振興のために使われるお金	13億8,681万円
⑧ 災害復旧費	災害復旧のために使われるお金	11億1,645万円
⑨ 商工費	商工、観光の振興のためのお金	8億3,005万円
⑩ 消防費	市民の安全を守る消防活動や防災対策のために使われるお金	5億293万円
⑪ 議会費	議会運営のためのお金	1億5,444万円

※平成26年度に実施した主な事業は次ページに掲載しています。

# 歳入歳出差引額 10億2,860万円



山田橋

**平成 24 年豪雨災害などに係る  
公共土木の災害復旧事業**

事業費 7 億 1,796 万円



(写真提供:阿蘇テレワークセンター)

草原情報館

**草原情報館整備事業**

事業費 2 億 8,384 万円

※運営体制構築業務委託、施設備品などの経費を含む



池尻団地 D 棟

**池尻団地 D 棟建設事業(宮地)**

事業費 2 億 2,113 万円

**平成 26 年度決算報告**

**平成 26 年度に実施した主な事業**

**民生費**

- 児童福祉事業
- 障害者福祉事業
- 老人福祉事業
- 生活保護事業
- 仮設住宅改修事業

**衛生費**

- 合併処理浄化槽設置整備事業
- 予防接種・各種健診事業
- ごみ収集事業
- 阿蘇広域行政事務組合負担金 (RDF・し尿処理等)

**教育費**

- 一の宮中校区統合小学校整備事業
- 電子黒板導入事業
- デジタル教科書導入事業
- 世界文化遺産登録推進事業

**総務費**

- 合併 10 周年記念式典実施事業
- 地方バス運行特別対策事業
- 乗合タクシー運行事業
- 家屋全棟調査事業
- 光ネットワーク維持事業
- 農林業センサス事業

**土木費**

- 幹線道路(支線)整備事業
- 道路維持・新設改良事業
- 池尻団地 D 棟建設事業
- 河川等改修事業

**農林水産業費**

- 農・林道整備事業
- 広域農道整備事業
- 農地・水・環境保全管理支払事業
- 中山間地域等直接支払事業
- くまもと稼げる園芸産地育成対策事業
- 地籍調査事業
- 経営体育成支援事業(雪害復旧対策)
- 阿蘇火山活動降灰地域園芸対策緊急支援事業

**災害復旧費**

- 公共土木施設災害復旧事業
- 農地・農業用施設災害復旧事業
- 歴史の道豊後街道災害復旧事業

**商工費**

- 草原情報館整備事業
- 商店街活性化・景観整備事業
- 阿蘇「草・観・然」活性化事業
- ANA ネーミングライツ事業
- 地域振興型イベント補助事業
- 健康づくりの郷推進委員会補助事業 (大阿蘇元気ウォーク)
- 阿蘇イルミネーション事業

**消防費**

- 消火栓・防火水槽・小型動力ポンプ整備事業
- 防災拠点施設用地測量設計事業
- 阿蘇広域行政事務組合負担金(常備消費)

特別会計



市が特定の事業を行う時に経理を明確にするため  
一般会計と区別した会計です。

会計名	歳入額	歳出額	差引額
阿蘇山観光事業特別会計	8,877 万円	8,877 万円	0 万円
下水道事業特別会計	6 億 2,986 万円	6 億 299 万円	2,687 万円
国民健康保険事業特別会計	42 億 9,244 万円	40 億 9,456 万円	1 億 9,788 万円
介護保険事業特別会計	30 億 7,336 万円	29 億 5,009 万円	1 億 2,327 万円
後期高齢者医療事業特別会計	3 億 9,207 万円	3 億 8,229 万円	978 万円
坂梨財産区特別会計	1,601 万円	756 万円	845 万円
古城財産区特別会計	2,359 万円	790 万円	1,569 万円
中通財産区特別会計	1,690 万円	452 万円	1,238 万円
宮地財産区特別会計	3 万円	1 万円	2 万円

企業会計



市が経営する企業の会計です。

会計名	歳入額	歳出額	差引額
水道事業会計	収益的収入額(税抜) 4 億 8,319 万円	収益的支出額(税抜) 4 億 4,232 万円	収益的収支(税抜) 4,087 万円
	資本的収入額(税込) 4 億 7,110 万円	資本的支出額(税込) 3 億 8,499 万円	資本的収支(税込) 8,611 万円
病院事業会計	収益的収入額(税抜) 15 億 1,115 万円	収益的支出額(税抜) 22 億 7,331 万円	収益的収支(税抜) ▲ 7 億 6,216 万円
	資本的収入額(税込) 25 億 1,772 万円	資本的支出額(税込) 25 億 3,449 万円	資本的収支(税込) ▲ 1,677 万円

## 阿蘇市財政の健全化判断比率などをお知らせします

平成 26 年度決算に基づく阿蘇市の健全化判断比率及び資金不足比率は、以下のとおりいずれの指標も国の基準内であり、今後も引き続き財政の健全化を図っていきます。

▶健全化判断比率とは

地方公共団体の財政状況を客観的に表し、財政の早期健全化や再生の必要性を 4 つの指標で判断するものです。

▶資金不足比率とは

公立病院や下水道などの公営企業の資金不足を、事業規模である料金収入の規模と比較して指標化し、経営状態の悪化の度合いを示すものです。

●健全化判断比率

指標名	阿蘇市	黄信号	赤信号
		早期健全化基準	財政再生基準
①実質赤字比率	—	13.39%	20.00%
②連結実質赤字比率	—	18.39%	30.00%
③実質公債費比率	8.6%	25.0%	35.0%
④将来負担比率	90.8%	350.0%	—

※①、②は赤字額がないため「—」表示としています。

●資金不足比率

特別会計の名称	阿蘇市	黄信号
		経営健全化基準
水道事業会計	—	20.00%
病院事業会計	—	
下水道事業特別会計	—	

※資金不足が生じてないため「—」表示としています。